

事業番号	03 06 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	中長期修繕・改修事業費	部局	総務部	課・室	財産活用課	
		実施期間	R3 ～	E-mail	zaikatsu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・少子高齢化・人口減少を踏まえ、施設の老朽化・有効活用などの課題に対応するため、ファシリティマネジメント基本計画に基づき、施設の修繕等を計画的に実施し県有財産の長寿命化を図っている。

・建築からの年数経過に伴い、雨漏りや設備の故障などの不具合が発生する県有施設が多くなっており、今後改修に要する経費が多額になっていくと見込まれている。

・計画修繕に合わせた建築物の消費エネルギーの削減及び浸水想定区域内の県有施設における浸水対策が求められている。

2 事業目的

ファシリティマネジメント基本計画に掲げる県有施設の長寿命化の方針に基づき、今後も継続して利用していく施設について、施設の中長期修繕・改修計画を策定し、財政負担の平準化を図りながら、計画的な修繕・改修工事の実施により施設の長寿命化を推進するとともに、計画修繕に合わせた建築物の消費エネルギーの削減により施設のゼロエネルギー化を推進する。

また、浸水想定区域の県有施設における浸水対策により洪水発生時における業務継続等を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 県有施設の長寿命化の推進

・特に劣化が著しい建築部材や、故障等により機能が著しく損なわれている建築設備の修繕工事及び設計を実施



建築部材



建築設備

② 県有施設の災害対策

・県有施設の大雨等による洪水発生時の浸水対策（応急的対策）として、災害時の拠点となる施設、要援護者が利用する施設等について令和3年より対策工事に着手

③ 県有施設の省エネルギー対策

・県庁舎省エネルギー改修事業（照明のLED化）の実施

・県有施設（合同庁舎・単独庁舎等）の省エネルギー事業（照明のLED化、電気自動車充電設備整備）の実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	特に劣化が著しい箇所に係る事業進捗率 （R1調査時、500万円以上）	箇所	82/153 (54%)	93/153 (61%)	↗	111/153 (72%)	↗	94/153 (61%)	達成 事業実効性を評価するため、特に劣化が著しい箇所の計画修繕の実施状況を評価指標とした。※目標値：施設の中長期修繕・改修計画から集計（計画期間：令和12年度まで）
②	浸水対策対象施設の事業進捗率	箇所	53/136 (39%)	90/136 (66%)	↗	136/136 (100%)	↗	136/136 (100%)	達成 既に完了した災害拠点施設以外の「その他の施設(136施設)」の実施状況。※目標値：施設の中長期修繕・改修計画から集計
③	照明LED化対象施設の事業進捗率	箇所	9/92 (10%)	9/92 (10%)	↗	38/92 (40%)	↗	46/92 (50%)	未達成 職員率先実行計画の対象施設（県庁、9 合庁、82 単独庁舎の計92施設）の実施状況に評価指標変更。※目標値：職員率先実行計画に基づく整備対象施設から集計（計画期間：令和12年度まで）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										
1-3①	社会的なインフラの維持・発展										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	1,580,361	4,208,015	△ 163,968	5,624,408	2,583,408	4,722,529	2.8
R6年度	229,415	3,295,646	128,880	3,653,941	2,096,941	2,069,758	2.8
R5年度	636,580	2,813,310	△ 434,293	3,015,597	791,084	2,712,028	2.8

事業番号	03 06 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	中長期修繕・改修事業費	部局	総務部	課・室	財産活用課				

7 主な取組実績と成果

①県有施設の長寿命化の推進

- ・ホクト文化ホール大ホール舞台機構改修工事などの継続事業、及び長野県障がい者福祉センター中央監視装置・自動制御設備更新工事などの新規事業を含め39件の計画修繕工事を実施。
- ・福祉大学校屋根・外壁改修工事設計など22件の計画修繕工事の設計を実施。

②県有施設の災害対策

- ・県庁の災害対策発電設備工事を完了。
- ・交番、避難施設等その他施設の浸水防止対策工事を39件を実施。

③県有施設の省エネルギー対策

- ・県庁舎省エネルギー改修：県庁舎照明器具のLED化の工事完了
- ・県有施設のLED化：21施設の設計を実施。33施設の工事を実施。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	特に劣化が著しい箇所に係る事業進捗率（R1調査時、500万円以上）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
実施を前倒した案件もあり進捗率は指標目標以上の成果となった。							
指標②	浸水対策対象施設の事業進捗率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
対策不要の施設もあり、計画以上の対策を完了し、目標を達成できた。							
指標③	照明LED化対象施設の事業進捗率	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
LED照明器具の需要増に伴う、器具の供給不足により完了できない施設があった。また、入札不調による設計業務の遅れにより工事着手ができない施設があり、目標は未達成。予算繰越等により翌年度に事業を継続し進捗率の回復をめざす。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

計画修繕では、目標の進捗率を上回る事が出来たが、想定よりも劣化が進み計画を前倒す案件等が増加傾向にある。また、事業費は、物価高騰のほか、省エネ等の機能向上により増加傾向が続いている。そのため、昨年度よりも当初計画の施設修繕に係る実施時期の遅れが大きくなっている。予算規模や計画の見直しの検討が必要。

(2) 事業改善の方策

- ・施設管理者から施設の劣化状況等情報を適切に把握し事業執行計画を適時に改定する。
- ・複数の修繕をまとめる等の発注方法の工夫や改修工法の選定による事業費圧縮等、引き続き柔軟な事業執行を行う。

事業番号	03 06 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	中長期修繕・改修事業費		部局	総務部	課・室	財産活用課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	県有施設の長寿命化の推進		1,681,472 千円	1,203,253 千円	2,344,088 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	計画修繕の設計及び工事	直接 委託	施設の中長期修繕・改修計画に位置付けられた修繕・改修工事の設計及び工事を実施		
			設計：実施22件/計画34件、工事：実施39件/計画27件（うち着手：23/23件、継続：4/4件）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	県有施設の災害対策		278,681 千円	161,021 千円	753,146 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	浸水対策工事	直接	災害時に拠点となる県有施設、要援護者が利用する施設等を対象に浸水対策の工事を実施		
			工事：実施39件/計画39件（着手：38/38件、継続：1/1件）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	県有施設の省エネルギー対策		751,875 千円	705,484 千円	1,625,295 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県庁舎省エネルギー改修の工事	直接	県庁の省エネルギー化を推進するため、照明LED化工事等を実施		
			工事：実施1件/計画1件（着手：0/0件、継続：1/1件）		
2	県有施設照明LED化の工事	直接 委託	県有施設の省エネルギー化を推進するため、照明LED化工事等を実施		
			設計：実施21件/計画26件、工事：実施33件/計画36件（着手：26/29件、継続：7/7件）		